

【群馬県】

現在の景気：持ち直しつつある。

3か月程度の見通し：緩やかな持ち直しが継続するとみられている。

個人消費：底入れ。1月の大型小売店販売（店調前、確報値）は前年比3.8%増と10か月連続で増加。店調後は前年比1.0%減と6か月連続で減少。3月の乗用車販売は、エコカー補助金の効果、震災の反動から、全体では前年比68.7%増と6か月連続で増加。

住宅建築：足許増加したものの、弱い動き。2月の住宅着工戸数は前年比22.3%増と7か月ぶりに増加。持家が6か月ぶりに増加、貸家が7か月ぶりに増加、分譲住宅が4か月連続で増加。

設備投資：足許増加したものの、弱い動き。2月の着工建築物床面積（非居住用）は前年比33.8%増加。鉱工業用が3か月ぶりに増加、商業用が2か月連続で減少、サービス業用が2か月ぶりに増加。

公共工事：低調に推移。3月の公共工事請負額（速報値）は、県、市町村が減少したものの、国、独立行政法人等、地方公社が増加し、全体では前年比9.5%増加。

生産活動：持ち直し。1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比4.3%上昇し114.1。

観光：足踏み。2月の県内主要温泉地の宿泊客数は前年比4.3%減と3か月ぶりに減少。気温が例年より低かったこと、祝日が土曜に重なったことなどが影響した模様。草津が前年比1.9%減と2か月連続で減少、伊香保が9.0%減と2か月ぶりに減少、水上が3.4%減と2か月ぶりに減少。

雇用情勢：持ち直しつつある。2月の有効求人倍率（季調済）は前月比0.05ポイント上昇し0.94倍。新規求人数が前年比28.1%増と8か月連続で増加、新規求職者数が5.0%減と6か月連続で減少。

（トピックス）

群馬経済研究所の県内トラック運送業のアンケート調査（調査時期：2011年12月、有効回答90社、回答率30.0%）によると、「燃料等コスト上昇」、「貨物量の減少」などの経営上の課題を、「同業者との協力」、「新規先の開拓」などで解決しようとしている業者が多数。今後の事業展開では、「コスト削減、効率化」、「荷主への提案力強化」が重要だとする回答が上位。北関東自動車道全面開通の効果から「輸送時間の短縮化」を挙げた業者が約半数に達した。

群馬経済研究所の県内企業の原材料や部品、商品の調達等についてのアンケート調査（調査時期：2012年1月、有効回答361社、回答率59.8%）によると、2011年3月以降、代替調達を行った企業は3割近くにおよぶ。調達先では、以前に比べ「東日本」が減り「西日本」と「海外」が増加。代替調達とみられる新規受注があった企業は約3割。受注の継続状況では、「一時的なものだった」、「今後も継続すると思う」が同じ割合で約4割。

< 主要産業の動向 - 群馬県 - >

電気機器：1月の鉱工業生産指数（季調済）は前月比2.6%低下。原指数は前年比15.3%低下。電気機械が前月比5.0%低下、情報通信機械が17.4%低下、電子部品・デバイスが4.5%上昇。

輸送機器：2月の自動車生産は5か月連続で前年比増加。新型車の好調により、登録車生産は2月単月として過去最高台数。軽自動車は生産終了前の需要増に対応する増産も。

繊維関連：2月の桐生繊維は洋装品（婦人服地など）の受注が夏物への切り替え時期のため散発的で低調。和装品（帯地中心）は、着物需要の低迷や先行き不透明感などから苦戦。